

EUROPE

NORTH
AMERICA

JAPAN

ASIA

AFRICA

SOUTH
AMERICA

第111期 期末報告書

2016.4.1～2017.3.31

CONTENTS

株主の皆様へ

決算概要

2016年度トピックス

連結業績ハイライト

株式概況／会社概況

日ごろより、大豊工業ならびに大豊グループ各社に格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

2016年度の期末報告にあたり、ごあいさつ申し上げます。

一昨年「VISION 2015」を完遂し、次の2020年に向けて「VISION 2020」を描きました。このビジョンは当社の強みであるトライボロジーをベースとして「地球環境とお客様への貢献」をテーマに、事業領域を広げていくことをイメージしています。当連結会計年度では描いたビジョンのもとで、グローバルに躍進することを目指して「2016-18新中期経営計画」を策定し、この計画を事業の中核に据えた活動を開始しました。

その活動の初年度として当期の売上高は、為替の影響を受けたものの北米・アジア地域においてバキュームポンプ、ガasket製品を中心に受注が伸び、過去最高の1,089億円となりました。利益面では合理化による大幅なコスト削減を推進してまいりましたが、円高の影響に加え、グローバル拡販による労務費、経費等の増加を十分には吸収できず、営業利益は63億円、経常利益62億円と前年度比で微減となりました。なお当期純利益は過去最高の44億円となりました。

2017年度業績見通しにつきましては、売上高1,100億円、営業利益61億円、経常利益60億円、当期純利益40億円を見込んでいます。

中期経営計画の中では事業分野別にチームを作り、取り組みを抜本的に見直し、世界トップの競争力を持つためのロードマップを策定し、実行計画のもとで活動を開始しました。また、グローバル基盤をさらに強化するためには、人財・組織づくりとリソースの最大活用も重要なテーマの一つです。人財力向上の取り組みとして、「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」をスタートさせ、「教え・教えられる風土」を醸成し企業成長の源泉である従業員一人ひとりが元気に活躍できる職場づくりを図ってまいりました。拡大するグローバルビジネスへの対応として北米、中国、アセアンの拠点強化を行い、また国内においてはすべり軸受の新材料開発拠点として大豊岐阜(株)を拡張。第3工場を竣工させました。このような取り組みのもと、収益体質強化を目指しグループの総力を挙げ愚直に活動を推進してまいります。

株主の皆様には、引き続きご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

「VISION 2020」

「地球環境とお客様への貢献」

2016-2018年度中期経営方針

「ゆるぎない『信頼と技術』でグローバルに躍進」

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

2017年6月

代表取締役社長 **杉原 功一**



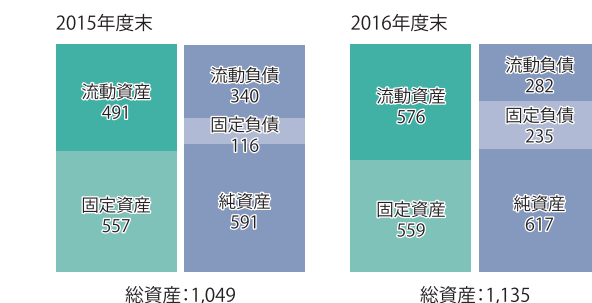
連結損益計算書

(単位:億円)

科目	2016年度	2015年度
売上高	1,089	1,072
営業利益	63	66
経常利益	62	62
税金等調整前当期純利益	62	55
親会社株主に帰属する当期純利益	44	37

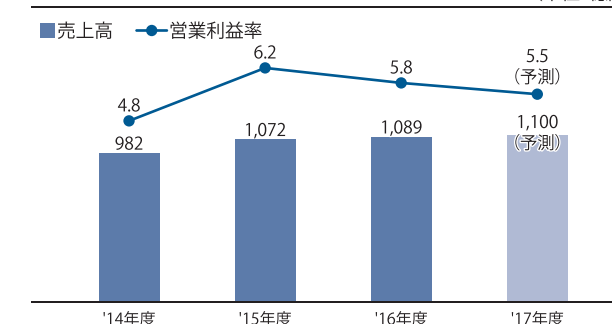
連結貸借対照表(要旨)

(単位:億円)



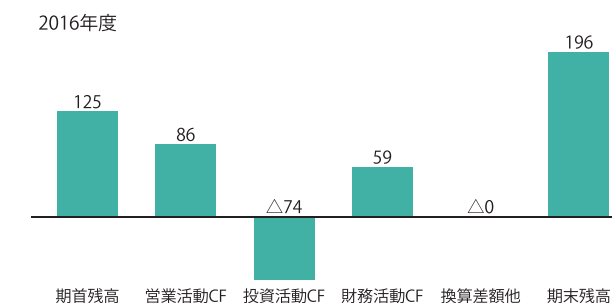
売上高/営業利益率(連結)

(単位:億円)



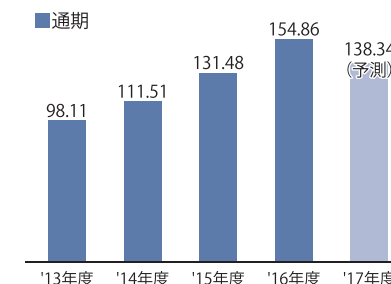
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:億円)



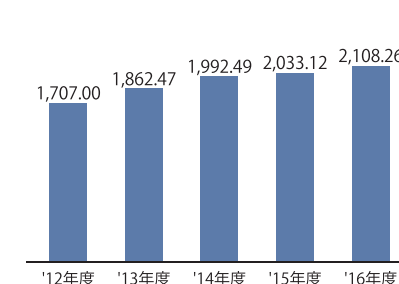
1株当たり当期純利益

(単位:円)



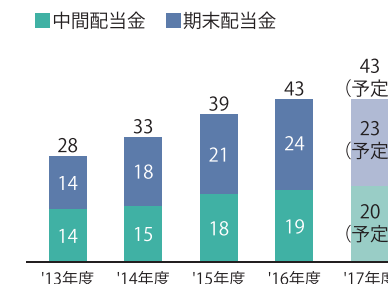
1株当たり純資産

(単位:円)



1株当たり年間配当金

(単位:円)



■グローバル供給を支える製造・生産技術

■中国拠点強化

- 樹脂コーティングライン稼働



TCY(中国)で、エンジン用すべり軸受の樹脂コーティングラインを稼働しました。

- 軸受一貫生産体制を開始



WBM(中国)が、TCYに軸受素材を供給開始しました。

■国内生産体制強化

- 大豊岐阜(株)第3工場竣工



すべり軸受の新材料開発拠点として新設しました。

■アセアン拠点強化

- TCT(タイ)新事務所開設



経営効率化と営業力強化のため、ナワナコン工場の製造機能をプラチンプリ工場へ統合。新たにナワナコン事務所を開設しました。

■バキュームポンプ生産能力拡大

- 大豊岐阜(株)、TCA(米国)で生産開始



大豊岐阜(株) ラインオフ式



TCA 組付けライン

バキュームポンプの生産能力強化として、大豊岐阜(株)とTCA(米国)で生産ラインを稼働開始しました。バキュームポンプの海外生産はTCT(タイ)に次いで2番目となります。

また大豊岐阜(株)第3工場の竣工により、すべり軸受をはじめ将来に向けた製品の生産スペースを確保しました。

■VISIONを実現する人財づくり

- 「燃える職場・社員総活躍プロジェクト～教え、教えられる風土の醸成～」を推進



社内ポスター

- 改善人財の育成
スキルアップ制度 開校



- 問題解決能力の強化
管理能力向上プログラム



- 社員の一体感づくり
大豊グループ駅伝大会

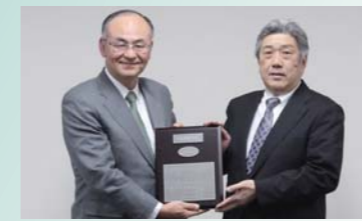


- 厚生労働省より
「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」
大企業部門・職業安定局長賞(優秀賞)



■品質・技術開発の追求

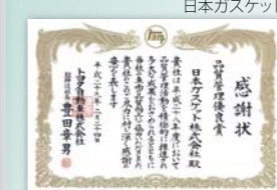
- 本田技研工業(株)より優良感謝賞 品質部門



- トヨタ自動車(株)より
技術開発賞



- トヨタ自動車(株)より
品質管理優良賞



■CSR活動の取り組み

- 大豊工業トライボロジー研究財団(TTRF)国際シンポジウム開催

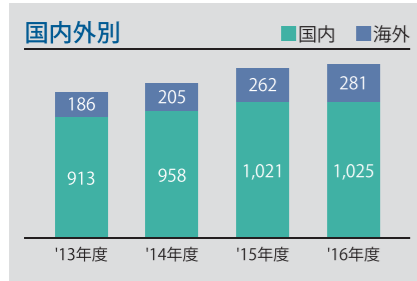


- 豊田少年少女発明クラブ当社施設の提供

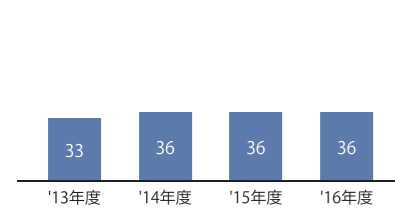


連結業績ハイライト

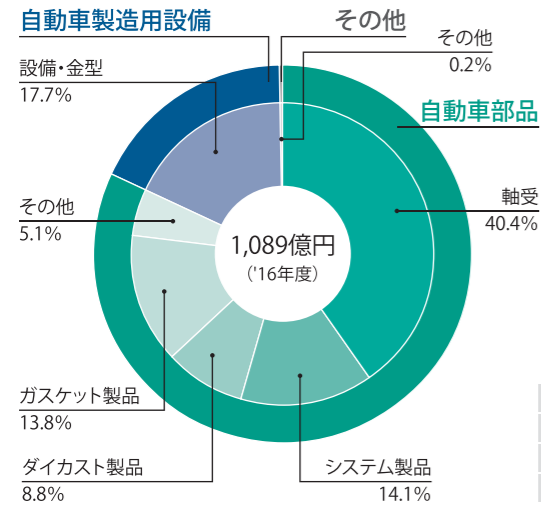
地域別売上高



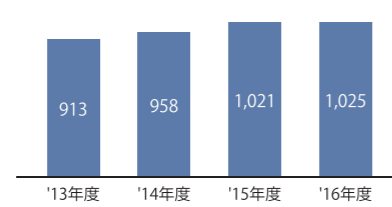
欧州



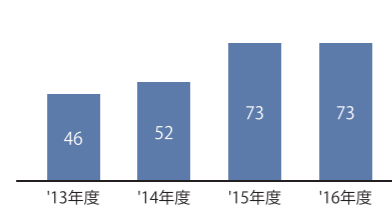
事業別売上高



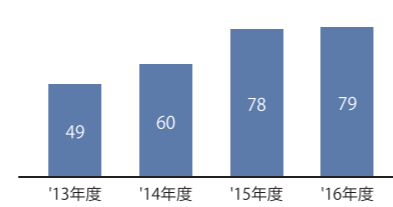
日本



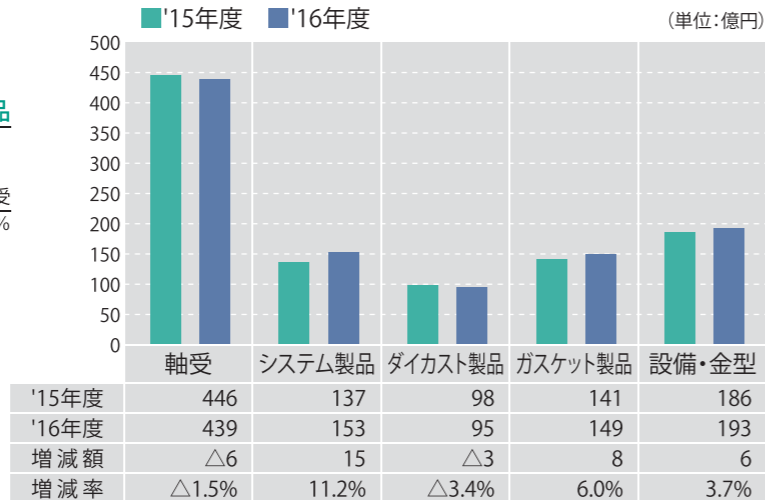
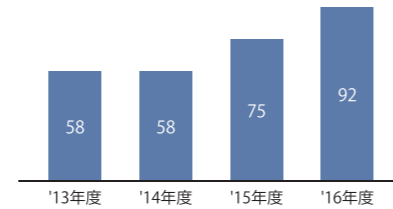
中国



北米



アジア



※連結消去前
(単位:億円)

株式概況 (2017年3月31日現在)

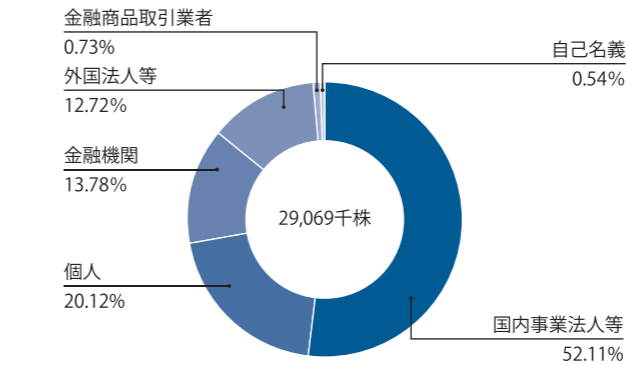
株式の状況

発行可能株式総数	48,400千株
発行済株式の総数	29,069千株
株主数	3,670名

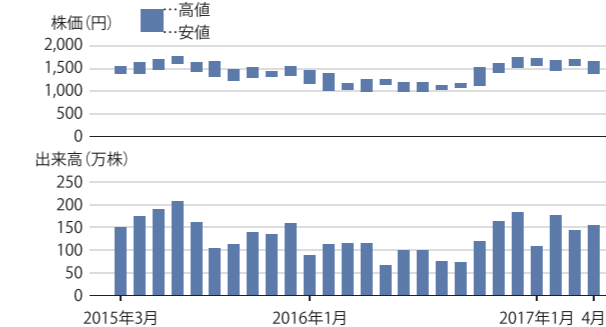
大株主(上位5名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	915

所有者別株式分布状況



株価の推移



会社概況 (2017年3月31日現在)

会社概要

創業 1944年12月
 資本金 66億3千6百万円
 従業員数 連結:4,280名 単体:1,650名
 本社所在地 〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL(0565)28-2225(代表)
 事業内容 軸受および軸受素材、ダイカスト製品、ガasket製品、システム製品、設備、金型などの製造販売

事業所および営業所

本社/本社工場(愛知県豊田市)
 細谷工場(愛知県豊田市)
 篠原工場(愛知県豊田市)
 九州工場(鹿児島県出水市)
 幸海工場(愛知県豊田市)
 東京営業所(東京都中央区)
 大阪営業所(大阪府大阪市)

国内子会社

大豊精機株式会社(愛知県豊田市)
 日本ガasket株式会社(愛知県豊田市)
 大豊岐阜株式会社(岐阜県可児郡御嵩町)
 株式会社ティーイーティー(愛知県春日井市)
 株式会社タイハウライフサービス(愛知県豊田市)

主な海外子会社

タイハウコーポレーション オブ アメリカ(アメリカ)
 タイハウ ヌサンタラ株式会社(インドネシア)
 タイハウコーポレーション オブ ヨーロッパ 有限公司(ハンガリー)
 韓国大豊株式会社(韓国)
 大豊工業(煙台)有限公司(中国)
 タイハウコーポレーション オブ タイランド(タイ)
 常州恒業軸瓦材料有限公司(中国)

取締役(2017年6月13日現在)

代表取締役社長 杉原 功一
 代表取締役副社長 村井 茂
 代表取締役副社長 近藤 隆彦
 専務取締役 楠 隆博
 専務取締役 佐藤 光俊
 取締役 榎本 祐嗣
 取締役 佐藤 邦夫

執行役員(2017年6月13日現在)

常務執行役員 原田 淳
 常務執行役員 川治 豊明
 常務執行役員 河合 信夫
 常務執行役員 吉井 利治
 常務執行役員 杉木 明
 執行役員 岸 吉信
 執行役員 出崎 亨
 執行役員 粟津 滋喜
 執行役員 岩井 晋一
 執行役員 加納 知広
 執行役員 小笠原邦彦

監査役(2017年6月13日現在)

常勤監査役 村松 省吾
 監査役 白柳 正義
 監査役 岸 宏尚
 監査役 安田 益生

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

● 株式関係のお手続きについて

1. 株式関係のお手続きにつきましては、お取引先の証券会社までご連絡ください。また、特別口座で管理されている株につきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



お問い合わせ先 TEL (0565) 28-2225 (代) 総務人事部広報グループ